

# ファミリー憲章で検討すべき項目

## 第1章 総則

1 ファミリー憲章選定の目的	
2 ファミリー理念	
3 ファミリーが大切にしている価値観	ファミリーメンバーの行動規範
4 ファミリーの歴史	エポックメイキング、言い伝えなどの整理

## 第2章 ファミリーに関するルール

1 ファミリーメンバーの範囲	本家／分家、直系卑属、直系血族、配偶者、嫁いだ娘、婿養子など
2 家長の選定と役割（権限と義務）	長子相続、互選方式、家長に権限付与するか否か（創業者と二代目以降の取扱など）
3 意思決定に関するルール	全員一致方式（全員の賛成が必要とするのか）、多数決で定めるのか、または保有株式の議決権に基づくのか
4 ファミリーミーティングの開催方法（ファミリー機関の設置方法）	開催頻度、場所、議長の選定方法、事務局（ファミリー総会、執行委員会、各種委員会）
5 情報共有のあり方	公平な情報開示（会議内容、財産状況）、秘密保持契約
6 費用負担のルール	本家（家長）負担、ファミリービジネス負担
7 紛争発生時の解決方法	ファミリーミーティングによる仲裁

## 第3章 ビジネスに関するルール

1 ファミリーが意思決定すべき対象	事前に承認が必要な事項（経営方針、取締役の選定／解職／報酬、資本施策、大型投資、資金調達など）
2 事業承継に関するルール	長子承継、先代退任のルール／退任後の役割
3 慈善活動などに関する方針やルール	フィランソロピー

## 第4章 ビジネスへのファミリーメンバーの関わり方

1 ファミリーメンバーの入社要件	人数要件、能力要件、経験要件、採用プロセス
育成方針と育成方法	
2（就業ファミリーだけではなく、非就業ファミリーについての育成方針なども合わせて検討）	ファミリービジネス内でのキャリアパス、ファミリービジネス以外への就業時の支援内容、非就業ファミリーに対するオーナーシップ教育など
3 処遇条件	人事制度に準ずる、特別支給の有無
3 評価方法	人事制度に準ずる、特別な評価方法、信賞必罰
4 退職ルール	定年制度、ファミリーミーティングでの決定

## 第5章 所有（株式）に関するルール （株主間協定書）

1 オーナーとする範囲と条件	直系血族、配偶者、嫁いだ娘、婿養子など
2 ライフイベント発生時のルール	相続時の株式買い取り、重篤な障害や認知症、結婚、子供の誕生時の対応
3 株式取扱いのルール	種類株式の発行、譲渡制限や譲渡価格（取得請求権付株式、取得条項付株式など）、M&Aへの対応
4 オーナー承継時の費用負担	役員報酬の増額
5 利益配分の方針	配当性向、再投資重視
6 会社での買取条件	ライフイベントや譲渡価格

## 第6章 資産（株式以外）に関するルール

1 資産運用の方針	安全な資産運用の方針
2 マネー教育の方針	次世代の育成
3 財産承継のルール	自社株式の遺留分、信託契約について

## 第7章 付則

1 ファミリー憲章改定のルール	ファミリーミーティングによる決定
2 ファミリー憲章の管理者	本家、家長